

## 「はり姫」での「頭蓋形状誘導療法」の治療の結果

期間：2022年6月～2025年12月

受診された赤ちゃんの人数：485名

### 頭蓋形状誘導療法を希望され治療を受けられた赤ちゃんの人数：

225名（作成率：46.39%）

変形性斜頭の赤ちゃん：172名 **Cranial Asymmetry = 17.57（平均値）**

変形性短頭の赤ちゃん：28名 **Cranial Index = 100.44（平均値）**

変形性斜頭・短頭の赤ちゃん：25名

**Cranial Index=99.92（平均値） Cranial Asymmetry=13.68（平均値）**

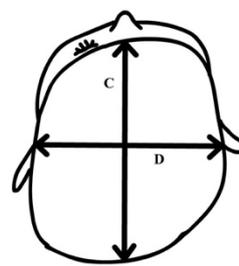
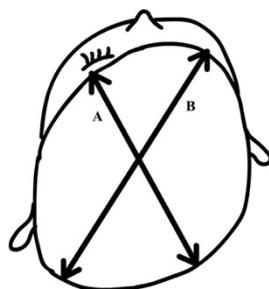
\* **Cranial Asymmetry(=CA)**は、左右の前額部から反対側の後頭部までの距離の差を現します。数字が大きいほど変形が強くなります。

\* **Cranial Index(=CI)**は、頭の前後方向の距離に対する横方向の距離の割合を現します。こちらも数字が大きいほど変形が強くなります。

\* 頭蓋形状誘導療法研究会のコンセンサスでは、**CA $\geq$ 15**または**CI $\geq$ 100**では重症の頭蓋変形があり、**頭蓋形状誘導療法の治療の対象**とされています。

Cranial Asymmetry = B-A

Cranial Index = D/C  $\times$ 100



### ヘルメットの作成率：

変形性斜頭、変形性短頭の治療をするかしないかについては、上記の計測の基準値に基づき決定しています。しかし、すべての方がそれに準じるわけではありません。変形が強く治療を勧められたけど希望されなかった方、必ずしも治療は必要ないこととお話しても治療を希望された方もおられます。その割合は以下の通りです。

#### <変形性斜頭>

CA $\geq$ 15の変形性斜頭がある方の中で治療を希望された方 73.07%

CA $\leq$ 14の変形性斜頭がある方の中で治療を希望された方 35.80%

#### <変形性短頭>

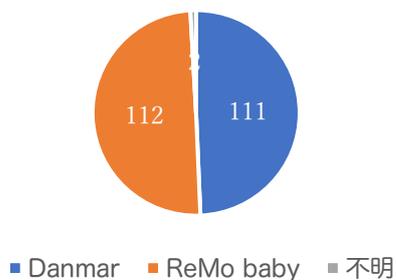
CI $\geq$ 100の変形性短頭がある方の中で治療を希望された方 54.67%

CI $<$ 100の変形性短頭がある方の中で治療を希望された方 45.57%

## 希望されたヘルメットのデザイン

当科ではミシガン式頭蓋形状矯正ヘルメットを採用しています。その中で、これまで矯正治療を開始した225名の方が選ばれたヘルメットのメーカー、カラーをお示しします。

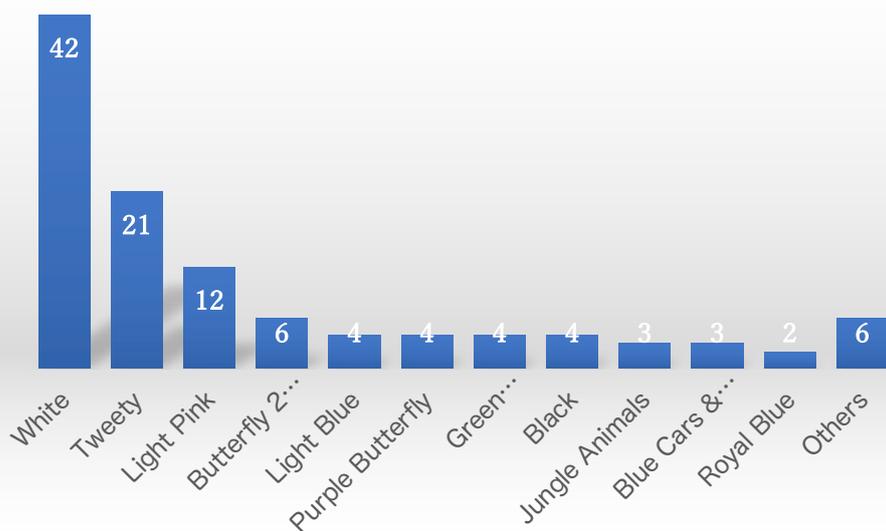
### メーカー別ヘルメット数



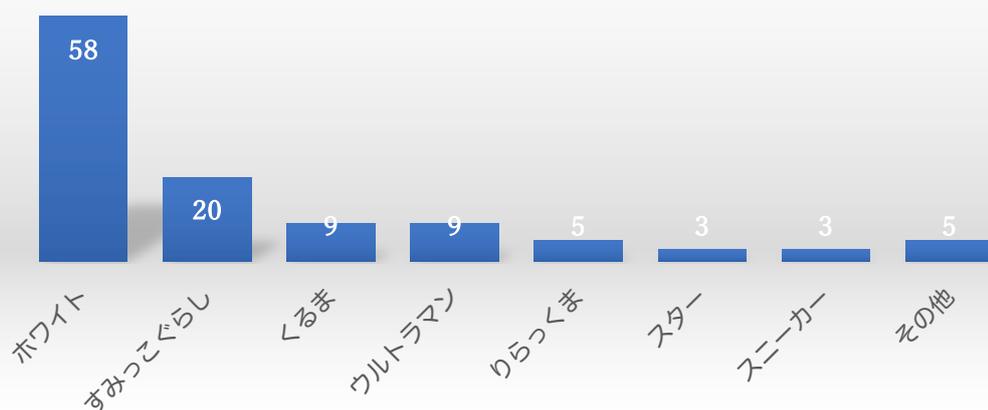
頭蓋形状矯正ヘルメットはそれぞれのお子様の頭の形状を3D スキャナーでスキャンしたデータをもとにデザインし作成します。

そのため、費用、治療の効果に関してはメーカー、ヘルメットのデザインによる差はありません。

### Danmar社ヘルメットのカラー



### ReMo babyのカラー



## 頭蓋形状誘導療法の結果

・・・変形性斜頭、変形性短頭の治療の結果を以下に示します。いずれも治療前後で統計学的に有意に改善していました。治療前に比べ治療後の数値が小さくなっているということは、変形が改善したことを意味しています。

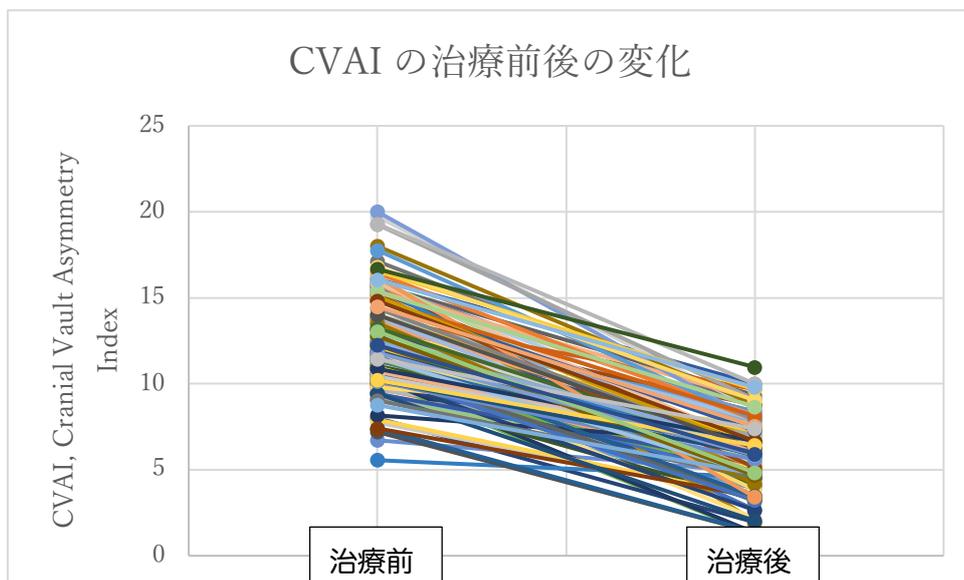
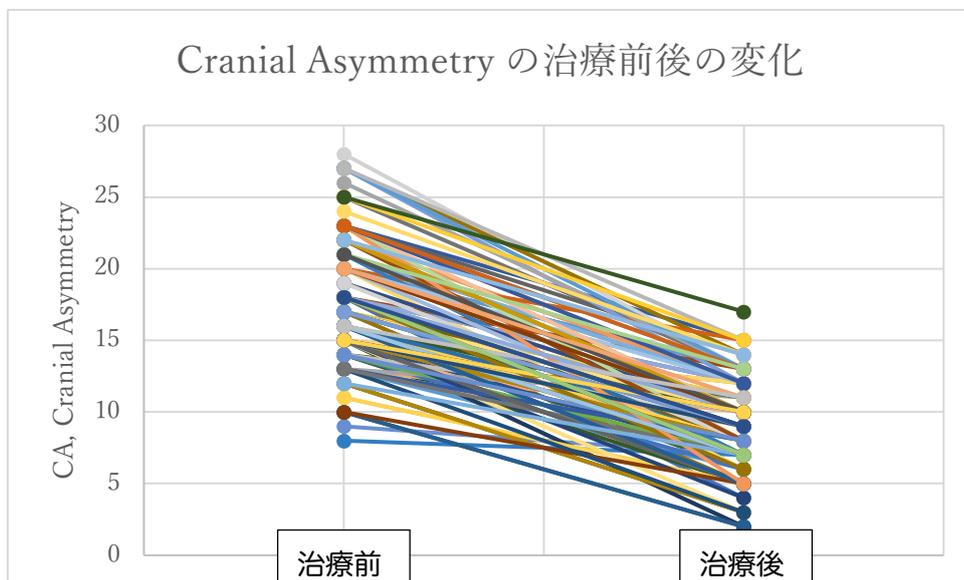
治療を完了した変形性斜頭の赤ちゃん：151名

Cranial Asymmetry (平均値) : 17.33 → 9.01

CA の変化量 (平均値) : 8.31

CVAI (平均値) : 12.22 → 5.96

CVAI の変化量 (平均値) : 6.27



治療を完了した変形性短頭の赤ちゃん：26名

Cranial Index (平均値) : 100.44 → 92.01

CIの変化量(平均値) : 8.46

